

第 3 回  
名古屋駅周辺まちづくり構想懇談会

平成 25 年 6 月 3 日

## 基本方針案を導き出した流れ

### 《第1回懇談会》

リニアを見据えた今後の名古屋駅及びその周辺のまちづくりに対する思い・考えなど

### 《第2回懇談会》

#### まちづくりの方向性

- ①広域的・国際的な役割を担う圏域の顔・拠点を目指す
- ②わかりやすさ、バリアフリー、乗換利便などのターミナル機能を強化する
- ③民間の活力を行政が支えるまちづくりを進める

#### 論点における意見

- ・まちの機能
- ・まちのかたち
- ・まちの性能

アンケート  
調査結果

- ・中部圏のものづくり産業と連携した拠点形成
- ・拠点にふさわしい象徴的空間により、空間の質を向上
- ・特に初めて訪れる国内外の人へのわかりやすさが重要
- ・おもてなし・交流機能を充実
- ・自動車でのアクセスを確保しつつ、歩行者空間を充実
- ・行政と民間が一丸となり、まちづくりを進める

リニア開通に向けた基本方針案

### 《基本方針案》

#### 1. 広域的・国際的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

- (1) ものづくりの圏域の中心である名古屋駅のターミナル性を活かすとともに、災害にも強い日本屈指の広域的・国際的なビジネス拠点を形成する。
- (2) 日本有数のターミナル駅にふさわしい風格と都市の魅力を感じさせる顔づくりのため、公共空間と沿道建物が一体となって象徴的空間を形成する。

#### 2. 国際レベルの誰にも使いやすいターミナル駅をつくる

- (1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する。
- (2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する。

#### 3. 中部圏の玄関口として、交流の拠点となり、多彩な魅力を持つまちへつなぐ

- (1) 来訪者を迎え入れ、もてなす機能を充実させる。
- (2) 他都市にない魅力を持った都市空間をつくる。

#### 4. リニア開通に向けて、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

- (1) まちづくり構想を実現するため、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進する。

# 基本方針案 1

## 基本方針

### 1. 広域的・国際的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

(1) ものづくりの圏域の中心である名古屋駅のターミナル性を活かすとともに、災害にも強い日本屈指の広域的・国際的なビジネス拠点を形成する。

### 【背景】

リニア開通により東京との結びつきが強化され、東京と一体化した巨大都市圏の形成により、日本の国際競争力を大きく向上させる好機と期待されている。

### 【方向性・取り組みイメージ】

◇その中で名古屋駅周辺は、名古屋大都市圏での企業集積を背景とした、ものづくり分野での国際的なビジネス拠点をを目指す。

- ・ 広域道路ネットワークへのアクセス性向上など名古屋駅とものづくり企業が集積している地域との円滑な移動を確保
- ・ ビジネス支援機能の充実 など

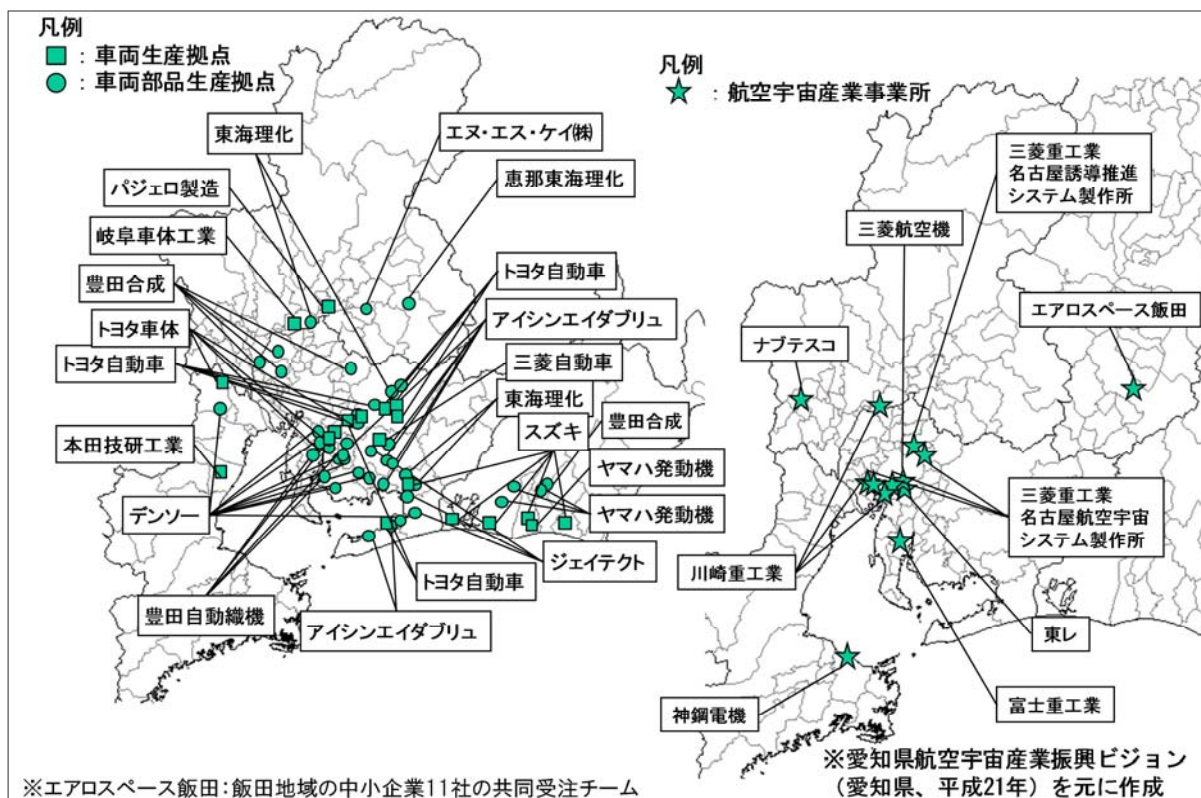


図1 自動車・二輪車産業、航空機産業の生産拠点等の分布

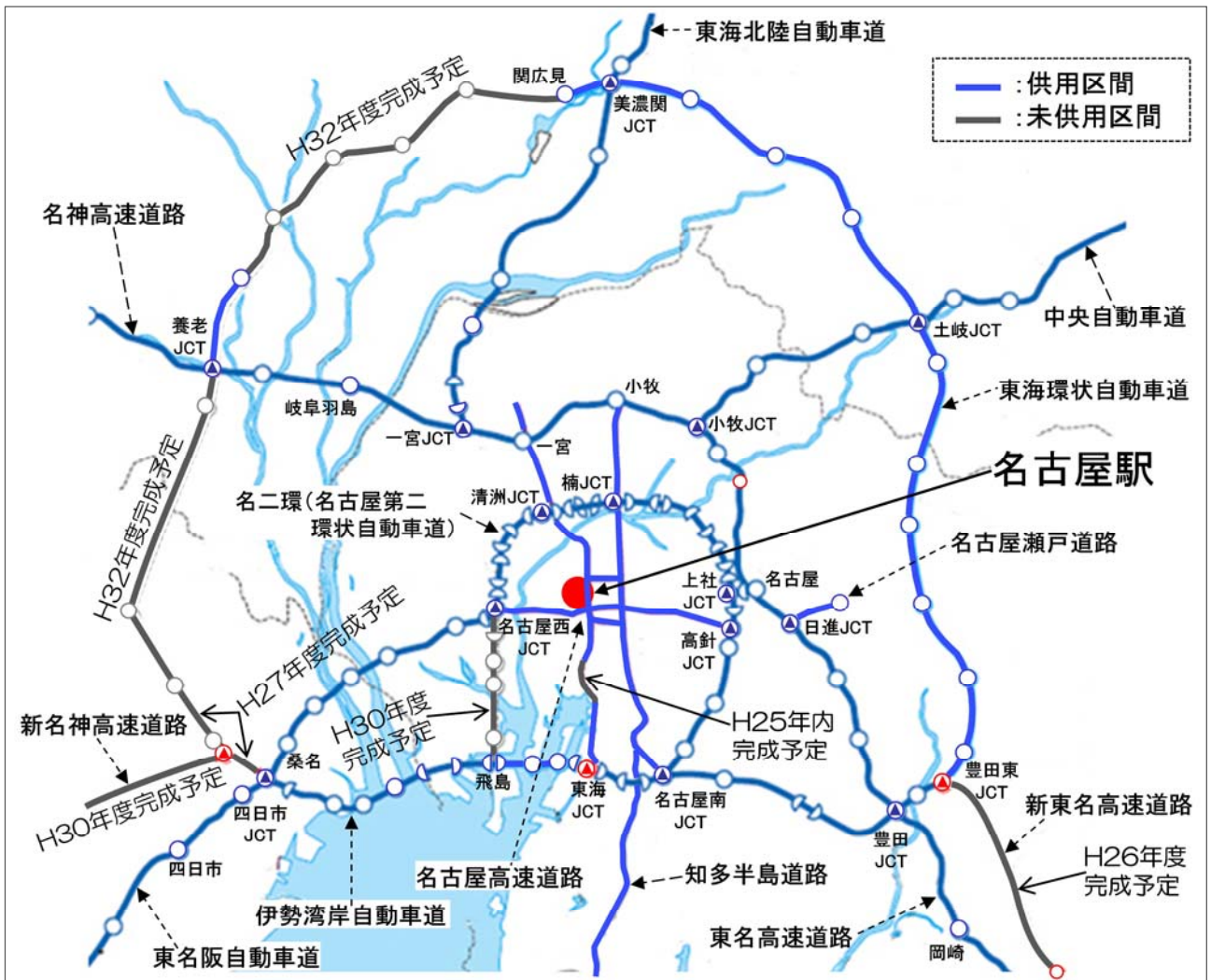


図2 名古屋大都市圏の高規格幹線道路等ネットワーク

## 【背景】

リニア開通により名古屋大都市圏の中での名古屋駅周辺の交通面での優位性は高まり、広域的な拠点としての役割が一層求められる。

## 【方向性・取り組みイメージ】

◇名古屋大都市圏を対象とした広域的なビジネス、集客機能を高める。

- ・主要企業の本社・支社、大学・専門学校、百貨店、嗜好性の高い店舗等の立地 など

◇広域圏を対象とした観光などの情報拠点としての機能を高める。

- ・広いエリアの情報をカバーする観光案内所 など

《オフィスに加え、大学が多数入居している例》



○サピアタワーにキャンパス等を置いている大学

- ・ 関西大学
- ・ 関西学院大学
- ・ 甲南大学
- ・ 埼玉大学
- ・ 産業能率大学
- ・ 事業創造大学院大学
- ・ 西南学院
- ・ 東京大学
- ・ 東北大学
- ・ 北海道大学
- ・ 立命館大学
- ・ 流通科学大学

写真1 サピアタワー

## 【背 景】

広域的・国際的なビジネス拠点として、かつ日本有数のターミナル駅としてのリスクマネジメントが求められる。

## 【方向性・取り組みイメージ】

- ◇海外企業からも安心して進出してもらえる環境を整える。
  - ・大規模災害が発生しても、業務の継続や早期回復が担保される都市インフラの整備
- ◇大規模災害が発生した場合に、多くの滞在者等の安全を確保する。
  - ・帰宅困難者対策の実施 など
- ◇広範囲にネットワークされている地下空間の安全性向上を図る。
  - ・地下街の防災性向上 など
- ◇水害に強いまちづくりを進める。
  - ・雨水流出抑制、排水能力の増強 など



## 基本方針

(2) 日本有数のターミナル駅にふさわしい風格と都市の魅力を感じさせる顔づくりのため、公共空間と沿道建物が一体となって象徴的空間を形成する。

### 【背景】

名古屋駅前には建物更新も進んできたが、乗降客数全国第6位のターミナル駅にふさわしい質の高い空間が求められる。

### 【方向性・取り組みイメージ】

◇リニアを始めとする大きなプロジェクトが動くこの機会に、日本屈指の象徴的な駅・駅前空間を形成する。

- 駅直近で重要な空間である駅前広場を中心に、駅東は名駅通・桜通沿いに風格が、駅西は椿町線沿いに賑わいが感じられる象徴的空間



写真2 金沢駅



写真3 東京駅



## 基本方針案2

### 基本方針

## 2. 国際レベルの誰にも使いやすいターミナル駅をつくる

- (1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する。

### 【背景】

リニアの開通によりターミナル駅としての利用が一層高まるため、誰にもわかりやすい空間形成が求められる。

### 【方向性・取り組みイメージ】

◇ 主な動線におけるわかりやすさや移動のしやすさを確保する。

- ・ 動線の主軸である中央コンコースを活かしつつ、東西・南北ネットワークを強化
- ・ 動線が交差する場所において、視認性と移動性が高い空間を形成
- ・ 乗換を支える情報提供機能の充実

### 《わかりやすい空間の形成》

～縦方向に移動できるコア同士を横に繋ぐ～

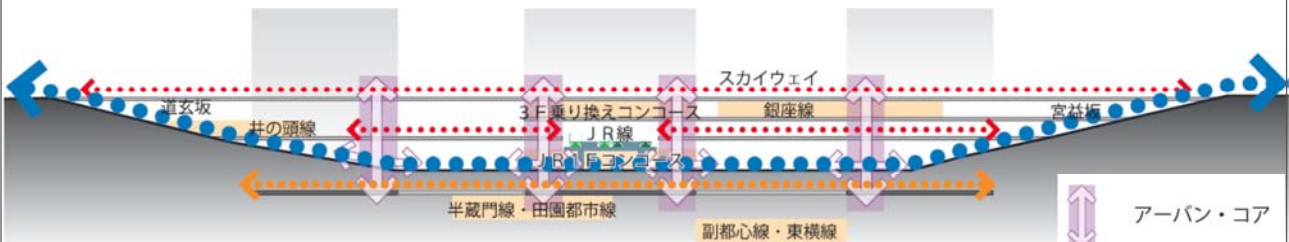


図3 渋谷駅の例

## 基本方針

(2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する。

### 【背景】

速達性の高いリニアの開通、周辺民間開発に伴う乗降客の増加によりターミナルとしての役割が高まるとともに、高齢化の進展などにより乗換利便性の向上が一層求められる。

### 【方向性・取り組みイメージ】

◇迅速・円滑な乗換ができる空間を形成する。

- ・各鉄道間の主動線の明確化、整流化、バリアフリー化
- ・リニアと栄など都心方面、中部国際空港や観光地などとの連絡性に配慮
- ・バスやタクシー・送迎車など自動車交通との利便性を向上



写真4 金山総合駅



写真5 大曽根駅



## 基本方針案3

### 基本方針

### 3. 中部圏の玄関口として、交流の拠点となり、多彩な魅力を持つまちへつなぐ

(1) 来訪者を迎え入れ、もてなす機能を充実させる。

#### 【背景】

リニア開通により、中部圏の玄関口としての役割が一層高まり、来訪者も増えると想定される。

#### 【方向性・取り組みイメージ】

◇交流を促進する駅・駅前空間をつくる。

- ・アクセス性や通行性を確保しながら、人が集い憩える空間を形成

◇来訪者へのおもてなしを充実させる。

- ・街の案内機能の充実
- ・幅広い価格帯の宿泊施設 など

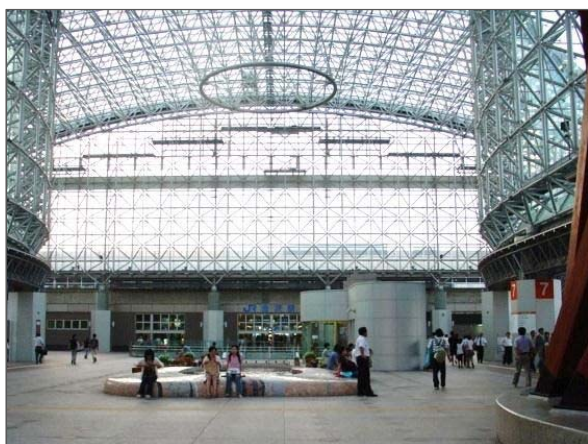


写真6 金沢駅もてなしドーム



写真7 大阪駅北口広場



写真8 博多駅駅前広場

## 基本方針

(2) 他都市にない魅力を持った都市空間をつくる。

### 【背景】

名古屋駅周辺には、超高層ビル群だけでなく、駅西、那古野・四間道、名三・名四、柳橋、ささしまなど様々な特性を持った地区が存在している。

### 【方向性・取り組みイメージ】

◇他にはないそれぞれの地区の特色を活かすとともに、それらを繋いで地区全体の魅力を高める。駅とまち、まちとまちを繋ぎ、回遊性を高めるため、歩行者空間を重視したまちづくりを進める。

- ・地域資源を活かしたまちづくりの推進
- ・民間再開発や道路空間の有効活用により、通行や滞留などのための優れたデザインの歩行者空間を充実
- ・地下空間について、まちとの接続や滞留などのため、歩行者空間を充実、地上との一体性や地下広場空間を確保



写真9 ナナちゃん人形付近



写真10 丸の内仲通り





図4 名古屋駅周辺地区の主な特徴



## 【背景】

他の大都市の都心に対抗して、来訪者の印象に残り、対外的にアピールできるまちにしていけるためには、名古屋駅周辺だけではすべてを担えない。

## 【方向性・取り組みイメージ】

◇公共空間の充実した栄、地域一番の観光資源である名古屋城と連携・補完する。

- LRT など路面公共交通の導入検討、大きなオープンスペースは栄・名古屋城で確保 など



図5 都心における連携強化



## 基本方針案 4

### 基本方針

#### 4. リニア開通に向けて、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

- (1) まちづくり構想を実現するため、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進する。

#### 【背景】

名古屋駅では従来から民間の活発な活動に支えられているが、リニア開通を見据えたまちづくりを進めるためには一民間の取り組みだけでは難しい面があるため、民間同士の連携や行政の役割が重要になってくる。

#### 【方向性】

◇官民の役割分担とスケジュールを共有する。